

28年度まで「助成金」の見積り・領収書を取らずに交付！ 岡山県では、新交付要綱を今年度 11 月 7 日より実施

ことばの研究社

※ EPA 協定に基づき、平成 20 年度から実施されている「学習支援金・助成金」の交付基準が、厚生労働省より明確になされていないままに運用されてきた。全国の自治体では、国の委任事項を実施するために、曖昧な交付要綱、並びに、基準で 8 年間に渡って行われてきた。

※ 弊社「ことばの研究社」では、全国の EPA 候補者受け入れ機関からの声を、毎月発行している【国家試験対策情報（月報）】で随時、取り上げてきた。その中で、「学習支援金」の用途について、教育指導現場と経営者との間で、多くの問題があった。その問題は、「学習支援金」が日本語学習に充当されることなく、現場職員が教育指導を行っている事実から生じていたものだ。

※ 県民が岡山県に 27 年度と 28 年度の交付実績を開示請求した結果、以下のような実態が判明した。

その内容は、不明確な根拠により、「学習支援金・助成金」が交付されていたことだ。そして、【助成金】でありながら、見積書・請求書を取らずに交付していたことが、【助成金の流用】を許す元凶だった。

※ 県民の指摘により、岡山県は、【新交付要綱】を 29 年度から実施することとなった。【新交付要綱】は、他県が実施しているものより、交付条件が具体的になり、事業実施後の実績報告時には、添付書類として「支出済額」の根拠となる【見積書・領収書の写し等】を求めることに改定した。

1. 【岡山県の H27・28 年度の「学習支援金」交付状況について】

A. 「学習支援金」は法人ではなく、一施設あたりに限る！

- 岡山県の「交付実績一覧表」をみると、一つの法人が複数の施設を運営している場合は、EPA 受け入れ施設から複数の交付申請があった場合に、受け取り窓口を、法人本部にしていたことが判明した。
しかし、「学習支援金」等の制度設置目的は、入職後の学習支援を目的としたものであり、本部が窓口となって、助成金を受け取ることはできない建前となっている。その主旨に反して、岡山県では、本部が「学習支援金」を運用できる環境を作っていたことが判明した。
- 本部が窓口になることは、受け入れ施設との「助成金に対する意識」が異なり、学習支援とは関係ない本部の資金運用に組み込まれる可能性があり、「学習支援金」が、実際に日本語教育に使われることがない実態が、各施設で生じている。その裏付けとしては、表 1 の③では交付金額より申請額の方が多く、施設が交付金に頼る姿勢を表している。また、多数の施設の中から生じる「現場の声」が、その裏付けとなっている。

B. 学習支援金よりその他の用途が多額なのは、矛盾！！

表 1 の裏付けとなっている「補助金支出済額内訳書」の内容を分析すると、その他の用途の申請額が多いことが特徴だ。その中で、表 3 と表 4 に関連する「EPA 受け入れに関する施設の負担金」を、入職前の教育に充当している事実が明らかとなった。その結果、現場の日本語学習の支援に充てる資金がないために、職員が学習を指導する矛盾が各施設で起きている。

C. 送り出し機関に支援金を充当することは、違法！！

表 2 の厚労省の【参考資料 3-3】によると、右表の通りに明記されている。（表 2 参照）
しかし、施設では、来日に際する候補者の紹介等を送り出し機関に頼っている現実がある。そして、その手数料を「学習支援金」から支払っている施設が岡山県でも判明した。「学習支援金」は、入職前の費用に関しては、一切充当できないことが認識されていない。

表 1. 岡山県の H28 年度交付実績
(出典 補助金支出済額内訳書)

① 日本語学習支援金 (積算根拠) 一人当たり @235,000 対象者数 171 人 申請金額 27,267,000	施設助成金 (積算根拠) 一施設当たり @80,000 対象施設数 28 施設 申請金額 1,932,000
② A 交付申請額 合計金額 34,007,455 申請額合計 (A+B) 38,156,748	B 4,149,293
③ 申請数と交付額差額 合計金額 6,740,455	(超過金) 2,217,293
④ 交付確定額 合計金額 29,199,000 円	

表 2. 受入施設が行う候補者の
学習に対する支援

- 受入施設が行う候補者の日本語学習や介護分野の専門学習の費用、宅習環境の整備等の費用について補助

① 候補者の学習支援拡充

- ・ 日本語講師等への受入れ施設への派遣等
- ・ 日本語学校への通学
- ・ 模擬試験や介護技術講習会への参加
- ・ 学習支援に必要な備品購入費用

※ 候補者 1 人当たり年間 23 万 5 千円以内

② 受入施設の研修担当者への手当新規

※ 1 施設当たり年間 8 万円以内

(出典 厚生労働省関係予算 参考資料 3-3)

II、【 学習助成金設置目的から外れた助成金の流用が、多数判明！！ 】

- 表1の①では、「日本語学習支援金」の交付限度金額が27,267,000円で、また、「施設助成金」の交付限度金額は1,932,000円だ。だが、岡山県の交付確定額は④で表しているように合計で29,199,000円となっている。この①と④の差額8,967,748円が生じている。この差額は、国の委任事項である助成金を、岡山県が意図的に交付金額を減額させていることが、最大の原因だ。その結果、施設は交付金受給の権利を制限されたこととなり、助成金制度の目的から除外されたことともなる。
- 施設からの交付申請額の内容を吟味すると、実際の日本語教育に関わる経費請求は、非常に少額であることが判明した。その代わりに、目的外の交付申請額が表3の④に表した通り、膨大な金額となっている。その割合は、①の施設数では、53.6%が目的外の「助成金流用」を行ったことが明らかとなった。これは、「助成金流用」と糾弾されても、法的には釈明の余地がない実態が解明された。

III、【 なぜ、施設が一律 36 万円を払うのか！ また、事業団はなぜ、10 万円を徴収するのか！！ 】

- 施設が、「学習支援金」である助成金を流用する背景には、表4で表している構造的な理由と原因があるからだ。経産省は、H28年度予算の内5億8千百万円をHIDAに支払い、来日直後日本語教育を行っている。
- この補助金によって、HIDAは滞在費・食費・教育費等を国庫で賄っており、100%補助金対象事業であることが確認された。しかし、「受け入れ施設の負担金」をHIDAに対して、一律一人当たり36万円を支払うよう、国際厚生事業団を通じて要求されている。と同時に、事業団に対しても一律一人当たり10万円の支払いを要求されていることが、事業団マニュアルより判明した。だが、この用途については、現在まで報告、並びに説明が施設にないことは、問題だ。
- 税金が助成金（厚生労働省関係）・補助金（経産省関係）を創出する基盤となっている。この取り扱いについて、経産省地域産業振興課では「各種補助金の重複支給の取り扱いについて」の中で、国・団体・県の重複支給は、「原則認めない」と明確に打ち出している。この原則からすると、「補助金で行われるHIDAの教育に対して、助成金からその費用に充てることは、禁止されている」と理解することが重要だ。（表4参照）

IV、【 施設負担金を軽減することが、 EPA 事業を成功させる最大の要因！！ 】

- 弊社ことばの研究社では、今回の取材を通じて強く再認識したことは、「EPA 受け入れ施設が経済的に多大な負担を負っている」ことだ。この現実を受け止めて、施設の経済的負担を軽減させない限り、EPA 受け入れ機関の増加と、候補者に対する「効果的な教育の実施」を実行させることは、非常に困難だと、国は認識すべきだ。
- 福祉分野での人手不足は日常化しており、これを解消する為には、EPA 事業による人材確保は不可欠だ。その為には、国は施設の経済的負担軽減を早急に行うべきだ。

表3、HIDA（来日直後集中学習の実施に支払い）

※ 出典：岡山県支出済額内訳書

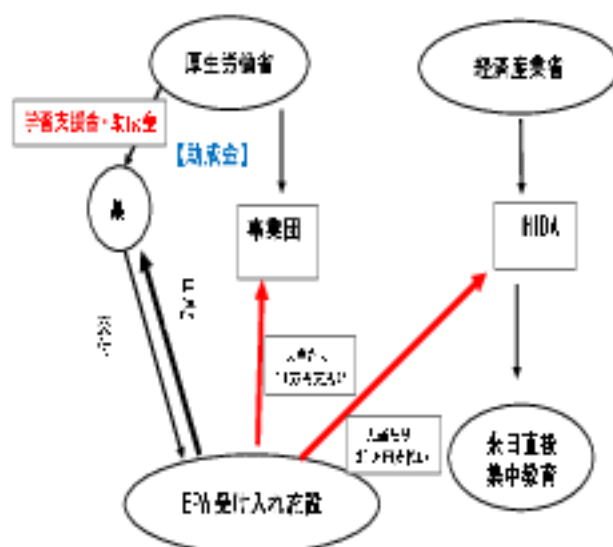
① 支払い施設数	15 施設
岡山県受け入れ施設に対する割合	15/28 53.6%
② 支払い対象人数	36 人
③ 支払い合計金額	12,760,000 円
④ 交付申請合計額	44,696,274 円

- ※ 「学習支援金」は、入職後の学習に対する支援金だ。しかし、来日直後に行われている「集中研修」は、経済産業省の予算（補助金）で、一般財団法人海外産業人材育成協会（HIDA）が実施している事業だ。
- ※ しかし、HIDAは「日本語学習に関わる経費」との名目で、施設一律に一人当たり、36万円を徴収している。この経費を「学習支援金」から充当することは、【国庫の重複支給】として、違法行為との指摘もある。税金の重複利用は違法なので、岡山県は、交付金の返還を、過去5年間に渡って求めるべきだ。

【EPA 協定に基づく受入事業関係予算】

- 厚生労働省 28年度予算額 回答なし
※ 再三、厚労省社会福祉基盤課に対して、予算額の回答を求めたが、回答がなかった。
※ また、本号の紙面の正確さを図るために、FAXで事前に送付したが、記事内容に対する返答もなかった。よって、本号の記事内容について、厚労省は認めたものとし、掲載した。
- 経済産業省 28年度予算額 15 億 4,500 万円

表4、【EPA 受け入れ事業の税金の流れ】



【岡山県「新要綱」に関するお問い合わせ先】

岡山県保健福祉部 保健福祉課
電話：086-226-7317 FAX：086-234-2456

支援金を上手に使った声

3か月間で、驚異的な変化が 感じられる！！

- 12月に入職し、「学習支援金」を使って、翌年4月から【到達度試験】に参加した直後から、受験者の意識と日常生活の態度に、大きな変化が起きて驚いた。
- 二人いる受験者のうち、一人は驚異的に日本語力が伸びた。そして、職員にうるさいくらい質問が多くなり、その変化の原因が「学習の仕方にある」と気づき、再度、驚いた。

(千葉県・T施設)

「学習支援金」を上手に活用、 3か月間で夜勤業務が実現！！

- ベトナム人はN3の資格があるので、日本語力はあると聞いていたが、実際にはほとんど日本語力が無いために学習支援金を使って、【到達試験】に参加した。
1回目を受けたスカイプ授業で、想像以上に会話に変化が生まれて、驚いた。わずか、3か月間で夜勤勤務ができるようになったのには、驚きだ。
- 今では自信がつき、会話の声が大きくなり、はっきりと意思表示できるようになった。
「学習支援金」の範囲内でスカイプ授業を受けたことが幸いだった。(愛媛県・A施設)

教材次第で、「教育効果」に 大きな変化が！！

- 【自学教材】の指導書も添付されていたので、それに基づいて忠実に学習指導を行った結果、確実に効果が出ている。
学習を始めてから、「語彙の意味理解」が深まるだけでなく、学習した語彙を使って「日誌・連絡帳」と良い方向に、語彙使いができる能力が身についた。
 - この変化に、現場の関係者も驚いている。
学習支援金の範囲内で1年間で准看護師試験に合格できたことに感謝。
日本語学習の重要性を認識した。
- (宮城県・K病院)

オリエンテーションだけで、学習意欲が 向上、さらに、教育効果を実感！！

- 1回目の顔合わせのオリエンテーションを実施しただけなのに、候補者が日本語学習に対して非常に関心を持った。自学の仕方や発音の仕方等、細かく指導を受けたことで刺激になったようだ。早速、教育効果が表れているようで、とても、とても嬉しい。
 - 先生自身の教育的背景や実務キャリアなど、どんな秘密があるのかと、とても興味を持った。
- (東京都・S施設)

学習支援金を上手に使ったら、 受験者も上手な日本語に！！

- 4名の候補者を初めて受け入れて、ことばの研究社のスカイプ授業に参加した。スカイプで学習ができる便利性と、国家試験合格率も高いということで、とても魅力を感じた。
- 候補者たちの日本語力は、入職当初に比べると上達して、岡山弁で冗談が言える程になって、利用者さんとも楽しく会話ができている。
夜勤にも入れるレベルになり、日々、成長していることが実感できる。
休みには、色々と自分たちで調べて旅行にも行き、日本の生活を楽しんでいる。
- 4名の学習費用は、学習支援金で賄えたので、施設の持ち出し金がなく、安心した。

(岡山県・O施設)

授業料は、「学習支援金」と 病院への助成金を併用！！

- 病院の職員が3年間も、試行錯誤しながら教育指導をしてきたが、日本語力が一向に向上しないため、ことばの研究社に教育相談をした。その後、「学習支援金」と病院への助成金を使って予算化し、【到達度試験】に参加した。
 - 1回目のスカイプ授業を終えただけで、会話力が目に見えて変化して、ビックリした。
受験者の姿勢に大きな変化が表れ、授業を受け出してから、職員に専門知識を質問することが非常に多くなったのには、驚いた。
 - さらに授業は、職員や看護師も見学できるので、日本人にも非常に勉強になった。
- 【到達度試験】参加前の3年間は、何だったのかと、感じた。(鹿児島県・K病院)

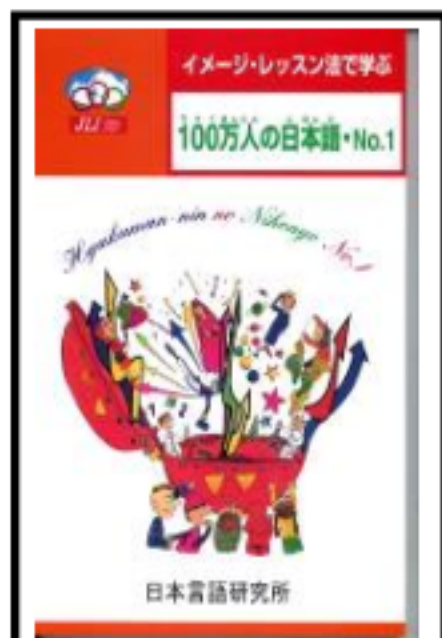
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

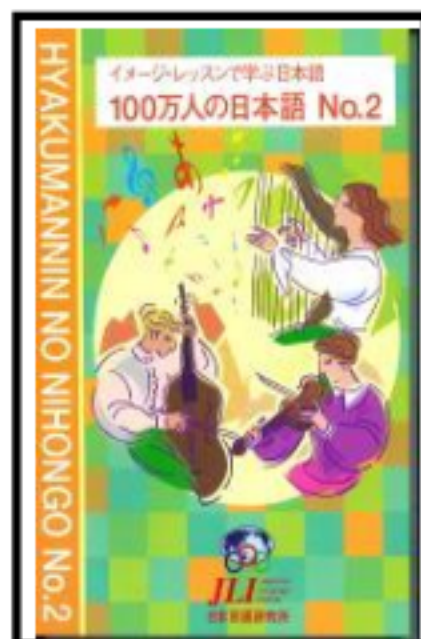
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

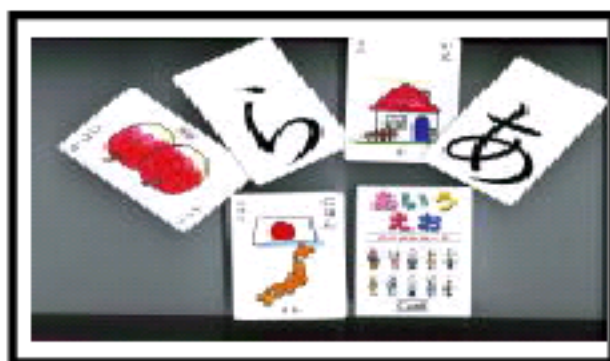
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

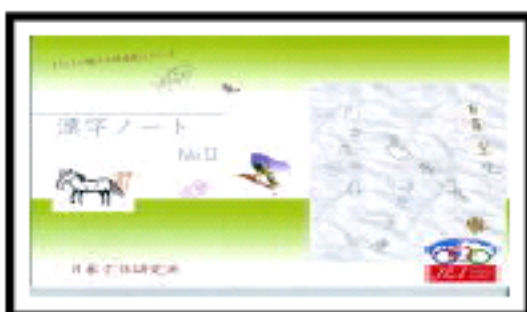
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその育出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

二年目

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

三年目

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		